

県北

どらくろ本

第24号 2018年3月1日（毎月1日発行）

県北現代小史④ 三次地方史研究会

「機関誌1000号の歴史」

三次地方史研究会の事務局 加藤さんは、三人の恩師の長、加藤光臣さんが三次高校に在学中、史学部には歴史や地理に精通した三人の顧問がいた。三次地方史研究会の初代会長の堀江文人先生、二代会長の藤村耕市先生、三代会長の米丸嘉一先生（現在は顧問）。歴史学の最強のトリオである。

加藤さんは、三人の恩師の薫陶を受けて、地方史のおもしろさやその価値をたたきこまれた。加藤さんの一年先輩に、のちに四代会長となる新 祖隆太郎さんがいた。

三次地方史研究会が発足したのは、一九六八年ごろだと言われている。初代会長の堀江文人さんが、同好の士を集

めて始めた「近世古文書解読研究会」が発展したものだ。「三次小史」の著者である堀江さんの博識は有名で、司馬遼太郎の「街道をゆく 芸備の道」では、堀江さんとの会見の内容や堀江さんの著作が詳しく紹介されている。「三次の史家 堀江文人氏の文章を読む」と、学問の基礎の堅牢さがうかがわれて、よほどの人のようにおもわれる」。司馬遼太郎の堀江評である。

堀江さんが教員生活を退職するのを機に、総会を開いて規約を成文化し、再発足させようという機運が盛り上がった。しかし、堀江さんが病気で倒れたことで中断。総会を開いて規約を決め、役員も選出されて、正式に再発足したのは一九八一年、会員数は三十五名だった。

「会員の研究発表会の開催」、「テーマ」との共同研究制の組織化」、「文化財の保護」の三点を規約に掲げ、二代会長に就任した藤村さんの陣頭指揮で、三次地方の郷土史研究の中核を担うようになる。同会の編集で出版された「三次の歴史」（一九八五年、菁文社）が、その広範な活動を物語っている。

「原始・古代編」では、県内の四割が三次盆地に集中しているという古墳の発掘調査と研究の成果が丹念に報告されている。「中世編」では、戦国時代の遺構である山城の発掘と現地調査が、史料や戦記物と対比しながら論評されている。「近世編」では農民一揆や差別との闘いといった民衆のエネルギーを紹介。「近・現代編」では、強制連行された朝鮮労働者の高暮ダム建設をめぐる過酷な実態を明らかにしている。

高暮ダムの強制労働に関しては、さらに詳しい内容をまとめた「戦時下広島県高暮ダムにおける朝鮮人強制労働の記録」（一九八九年、菁文社）が、単独の冊子として刊行されている。

会の機関誌「みよし地方史」が創刊されたのは一九八五年。会員の研究の成果が、記録に残るようになった。また、市内外の図書館などの公共施設に配布することで、郷土史のおもしろさを発信。機関誌を読んでの入会希望も多いという。

「みよし地方史」は四月、八月、十二月の年三回発行。号数を重ねて昨年の八月で一〇〇号



になる。当初は一〇〇号を記念号として会員や関係者のメッセージを掲載する予定が、四月に藤村顧問（当時）が八十六歳で急逝、「藤村耕市氏の追悼特集号」に変更された。藤村さんは長年の功績が認められ、二〇〇九年に文部科学大臣賞を受賞している。

あらためて、昨年十二月の一〇一号が「一〇〇号記念特集号」として発行された。ざら半紙に謄写版印刷だった創刊号から、「創刊にあたって」という藤村会長（当時）のメッセージが転載されている。そして、全二〇頁の半分以上を使って、過去の掲載文（論文など）の題名の著者別総目録（五十音順）を作成。その多彩な分野から、機関誌の一号一号が郷土史の貴重な資料であることがうかがわれる。

「歴史の発掘だけではなく、近代や現在のことも記録していくことが大切だと考えています」

と事務局長の加藤さん。「わたしの被爆体験記」（二〇一四年、菁文社）は、市内在住の原爆被災者、中村孝之さんの口述を冊子にまとめた労作で、「みよし地方史」にも転載されている。体験者にしかわからない惨禍が綴られている。

会員数は、一九八〇年代、九〇年代の最盛期には百名を超えることもあったというが、ここ数年は六十名前後で推移している。加藤さんの盟

友である新祖隆太郎さん（四代会長）が六十五歳の若さで病没、一五年四月から上重武和さんが五代会長に就任している。

活動は機関誌の発行の他、隔月の研究発表会や不定期に行っている臨地研究会（現地での勉強会）が中心で、年会費は三千三百円。そのほとんどが機関誌発行の費用だという。「寄稿者や研究発表者が固定化されていましてね」

加藤さんの悩みは、後継者問題でもある。六十代はまだ若手で、下の世代が育っていない。社会環境の変化も影響している。若い世代は生活するのに汲々で、学術に浸るだけの余裕はないのだろう。

「堀江先生や藤村先生のような通史的な視野や博識を持つ研究者は、今後は出ないかもしれませんね」

加藤さんの専門は考古学だ。各分野のエキスパートが集まって、その隙間を補填するしかない。

「過疎化が進み、研究者が高齢化している現状では、貴重な史料、書籍の保全も含めて、三次地区だけでなく、県北エリアでの協力や連携が必要なのかもしれません」と加藤さん。今後の大きな課題である。

【連絡先】三次地方史研究会

☎080(1912)9097

加藤事務局長

老いの雑記帳①

「赤の点滅」

『老後は、わかき時より、月日の早き事、十倍なれば、一日を十日とし、十日を百日とし、一月を一年とし、喜樂して、あだに日をくらすべからず。』（貝原益軒「養生訓」の一節）

公民館前の信号機は、帰る時のみ常時「赤の点滅」である。これまで気にも留めなかったが、先日の常会の帰りに何故か気になった。

「お前にはあまり時間が残っていないから気を付けて早く渡れ！」そう言っているように思えてしまったのだ。

確かに老後の一年はあっという間に過ぎてしまう。あれも遣りたい、これも遣りたいと、焦る気持ちよそに、時間だけは容赦なく過ぎていく。そんな焦りに追い打ちを掛けるように、信号機が赤の点滅を繰り返しているように思えたのだ。

何年も前から「赤の点滅」を見てきたのに、何故それが我が人生と重なったのだろうと不思議に思ってしまった。点滅、それも赤の点滅となると、「人生の点滅」のように思えて仕方なかったのだ。

「十秒前、九秒前……三秒前、二秒前、一秒前。」

そんな声まで聞こえてきそうな点滅だった。

『死に直面すれば誰でもすべきことが山ほどあると気づくものだ』というホーキングの言葉を噛みしめながら、トボトボと家に向かっていた。

「思いのままに、我が心の雑記帳」(鈴木澄夫著)より



野島透 『山田方谷の夢』

幕末維新の時代に抗して

江戸末期には、大半の藩が財政逼迫をきたしていました。幕藩体制の行き詰まりだったのでしようか。やがて、大政奉還となりましたが、藩主たちは藩がなくなるのだと想像できていたでしょうか。

こんな疑問を、野島透『山田方谷の夢』（明徳出版社、11年刊）を手がかりに考えてみます。この本は、幕末に備中松山藩（高梁市）の藩政改革を果たした儒学者で家老の山田方谷の事蹟をたどった「方谷入門」の本だともいえます。著者は「方谷6代目の直系子孫」だということですから。

方谷は、「10万両の藩の借財を8年間で返し、10万両を蓄えた」として、当ても驚きの目で見られました。それは、どのようにして出来たのでしょうか。

当時、藩財政の大本は農民からの年貢による米の収入でした。商品経済の浸透で、米の収入では藩財政をカバーできなくなり、米の取引を託していた豪商から、莫大な借金をしていたのです。

家老方谷が目をつけたのはここで。米の取引に商人を介さず、藩が直接携わる仕組みを作ったのです。

す。ただ、青年期は農業のかたわら家業の菜種油商として、「利ざや」の仕組みを身につけていました。

藩主板倉静清（しずきよ）の命令で「家老職」に取り立てられた時には、真つ青になり固持します。上級士族を押しつけての農民の家老なんて驚

また読んでみたい本②4

青年たちに

音谷 健郎



古今東西の文学にはたくさんの名作があります。そんな名作の中から筆者の心に残る作品を今の青年たちにも読んでもらいたいと思い、毎月1冊ずつ紹介しています。

【山田方谷の夢 表紙】

第24回は、野島透の『山田方谷の夢』です。もし興味を持ったらぜひ読んでみてください。

筆者紹介：1944年、旧・庄原町生まれ。新聞記者、大学講師を経て現在、庄原市東本町在住。大阪文学学校講師

金利に手を汚すとは武士の風上に置けぬと思われる時代です。

実は、方谷の出身は武士ではないのです。先祖はどうあれ農民階級として、儒学で身を立てようと学問に励み、破格な取り立てとして藩校、有終館の学頭にまでなっていたので

を使って藩財政を調べ上げ、その上で次々と殖産の新規事業を起こすことも出来たのです。

米本位の経済環境の中でも、すぐれた経世済民の目を持てば、幕藩体制の下でも財政運用は可能なことを物語っていると思います。

続いて国政への高い見識で、この小藩の藩主、静清を内閣の主要閣僚に当たる「老中」に押し上げる影の力になりました。天皇と幕府が共に力を合わせて執政に当たる公武合論の主峰になります。さらには公武合体の総仕上げの「大政奉還」の奏上文を作りました。だが、時代は明治維新、廃藩置県へと激しく進みましました。当初こそ、藩主が県知事になりましたが、みるみる県の合併が進み、藩は姿を消します。

元藩主静清の失意はいかばかりだったでしょうか。明治8年、小さな茶園の主人となった静清は平服姿でひっそりと方谷を訪ねています。

一方、方谷は新政府の「大蔵大臣」への誘いを断り、郷里の私塾で老後を全うします。幕末・維新の荒波を受けながら、惑わされずに自分の生き方を貫いたと思います。

（次回は、増川宏一『小さな藩の奇跡』です）

「山の歳時記・春」

著者紹介…一九三一年、比婆郡(現・庄原市)比和町に生まれる。農学博士(九州大学)。昆虫や動植物などの自然科学、郷土史や民俗学を含めた博物学の研究者で、著書は多岐にわたる。

※中村さんの回想録的なコンセプトで編纂された「虫と草木と人びとと」(シンセイアート出版)から、著者の許可を得て、その一部を抜粋、転載しています。

フクジュソウのえまい(微笑)

フクジュソウは福寿草の意。正月に欠かせない吉祥の花とされているが、それはいつごろからであろうか。福寿草の名が初めて文献に登場するのは、一六四五年(正保二年)にできた貞門俳諧の俳書『毛吹草』^{けふきぐさ}のようである。「福寿草又は元日草と云う」とある。一六六四年(寛文四年)に

著された園芸書『花壇綱目』には、既に栽培法も記されている。江戸時代の初期には、俳人の間で福寿草が注目されていたようだ。

やがて一般にも正月を飾る花として広く認知され、多くの品種が育成されて、今日に及んでいる。愛らしい栽培種が歳中市で売られている光



フクジュソウ

帝釈峡中山にて3月 小川光昭氏撮影

景は、師走を彩る風物詩でもある。

栽培種の普及とは裏腹に、野生のフクジュソウは、今では帝釈峡を中心に、わずかに生き残っているばかりである。

栽培種は暦の正月に開花期を合わせて育てられるが、野生種は春の訪れと共に、陽光をたっぷり受けて咲く。花丈は優に二十センチはあるだろうか、ひな人形のように可憐な栽培種とは趣を異にし、堂々とたくましくさえる。

「黄金のいろに」 三好達治

こがねのいろにまがうとも
うとみたまいそ福寿草
黄泉^{よみ}をうがちて咲く花の
えまいを見ればきよらなる

人間があさましく求める黄金^{こがね}の色に花色は似ているが、フクジュソウのえまい(微笑)は、それとは無関係に清らかである。詩人三好は、現世よりもっと根源的なものとの対話を訴えているのだろう。

どの花よりも早く春を楽しむ

冬、木はすっかり葉を落とし、下草も枯れて林は静まりかえっています。もちろん、野原も雪に覆われ、草たちはじつと春の訪れを待っています。杉木立ちの中をよく見ると、雪をかぶりながら緑色のつやつやし

た葉をのぞかせている草に出会います。雪の下、葉を枯らさせず、寒さに耐えて静かに春の訪れを待っている草、それはセリバオウレンです。やがて、雪だけの近い二月の終わりになると緑色の葉の間からどの草

にもさきがけて茎を伸ばし、その先につぼみをつけます。そして、セツブンソウなど、わずかな花がほころぶる頃には白い花を開き、どの花よりも早く、春を楽しんでいるようです。

オウレンとは中国の呼び名「黄連」によっているようで、県北のオウレンはセリのように葉が細かくいくつにもわかれているので、セリの葉のようなオウレンという意味で、名づけられました。オウレンという呼び名は、いつ頃から使われるようになったか、はつきりしませんが、源順（みなもとのしたごう）が九三一年から九三八年にかけて編纂した日本最初の百科事典『倭名類聚抄』に、「黄連 本草云黄連一名王連 和名



セリバオウレン

庄原市総領町にて3月 小川光昭氏撮影

加久末久佐（黄連 医学の本にでている黄連のことで別の名は王連、日本の呼び名はカクマクサ）」とあるところから、奈良時代にはカクマクサと呼んでいたが、中国から医学や薬学の知識が伝わるにつれて、カクマクサに替ってオウレンと呼ぶようになったのではないだろうか。とすると、日本でもずいぶん古くから薬草として私たちの祖先は利用していたことと思われます。

セリバオウレンをそつと抜いて根をきれいに洗ってみましょう。どんな色かな？ それから根をかんで見ましょう。味は？ そう、とても苦いですね。オウレンは今でも胃薬の原料として利用されています

大山百合香スペシャルライブ 「Breath いぶき」

日時：3月11日(日) 14:30開場 15:00 開演

場所：CCプラザ 3F プラザホール
(三次市十日市中 1-10-10)

入場無料 (入場整理券が必要です)

入場整理券配布場所：

CCプラザ総合案内所、三次教育会館、天輪
※当日、会場入口付近に東日本大震災義援金募金箱を設置します。ご協力をお願いします。

主催・お問合せ：公益財団法人 三次教育会館
(Tel.0824-62-0689)

大山百合香プロフィール

鹿児島県奄美群島の沖永良部島出身。2005年にメジャーデビュー。発売した楽曲がCMソングやテレビ番組のテーマソングに選ばれ注目される。2009年の映画「河童のクゥと夏休み」では「夏のしずく」が主題歌に選ばれている。

2015年からは広島県を拠点に活動。飾らないハートフルなステージと心地よいクリアボイスが魅力である。

大山百合香プロフィール
鹿児島県奄美群島の沖永良部島出身。1993年に音楽と料理を学ぶ。高校時代より音楽活動を始め、大学卒業後、05年にSony Music Associated Recordsよりメジャーデビュー。2013年に開催された「第10回 奄美の音楽祭」にて奄美の音楽祭のイメージソング「奄美の音楽祭」のCM曲として、収録された。07年、NHK放送局の「奄美の音楽祭」にて奄美の音楽祭のイメージソングとして収録された。14年、初の自主制作のアルバム「花の呼吸」をリリース。15年には初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。16年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。17年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。18年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。19年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。20年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。21年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。22年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。23年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。24年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。25年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。26年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。27年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。28年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。29年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。30年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。31年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。32年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。33年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。34年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。35年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。36年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。37年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。38年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。39年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。40年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。41年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。42年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。43年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。44年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。45年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。46年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。47年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。48年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。49年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。50年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。51年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。52年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。53年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。54年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。55年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。56年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。57年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。58年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。59年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。60年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。61年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。62年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。63年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。64年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。65年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。66年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。67年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。68年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。69年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。70年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。71年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。72年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。73年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。74年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。75年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。76年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。77年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。78年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。79年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。80年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。81年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。82年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。83年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。84年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。85年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。86年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。87年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。88年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。89年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。90年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。91年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。92年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。93年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。94年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。95年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。96年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。97年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。98年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。99年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。100年、初のライブアルバム「Breath いぶき」をリリース。

大山百合香「Breath いぶき」
2018.3.11 Sun
open 14:30 start 15:00
CCプラザ 3F プラザホール
三次市十日市中 1-10-10

●入場無料 [入場整理券が必要です]
当日、会場入口付近に東日本大震災義援金募金箱を設置いたします。
【入場整理券配布場所】
CCプラザ総合案内所・三次教育会館・天輪

主催・お問合せ／公益財団法人 三次教育会館 三次市栗屋町 2343-1 tel.0824-62-0689
後援／中国新聞社・三次ケーブルビジョン

会議室のドアを開けると、北山が煙草をくゆらせていた。今日は木曜日、月に一度の診療日だ。

「おいおい、ここは全館禁煙だぞ」

「うるさいことを言うなよ。ニコチンは、ストレス解消の特効薬なんだ」
そう言いながらも、缶コーヒーの空き缶に煙草を落とした。

「高校のときからそんなことを言っていたな」

「ばかやろう、中学のときからだ」

互いに笑った。まだ肌寒い三月だというのに、ベン・ケーシーを気取って半袖の白衣を着ている。三代半ばだというのに、腹がでっぴりせり出して貫禄がある。結婚して子供も三人。

片や、おれは未だ独身。俳優の夢破れて都落ちして、介護施設の職員としてこき使われている。人生は残酷だ。

東京でまだ俳優をやっていた頃、テレビドラマで初めてセリフをもらえたのが嬉しくて、北山に電話で報告した。しかし、そのシーンは編集でカットされていた。

「本当に死んでるかと思ったよ」

律儀に電話をくれた。

「メイクが凄いなんだよ」

真冬の水死体の役だ。メイクをし

なくても唇が紫になっている。

「いつ生き返って舌を出すのかと期待してたんだがな」

「ばかやろう……」

「お笑いをやれよ。ユースケにはその方が似合ってるんだ」

相方がいねえんだと心の中で毒づいた。

「タキノさんのことだがな。やっぱり花見に連れて行くのは無理そうか？」

るんです。もう一年、がんばりますからと、桜の木に誓うんです」

タキノさんは天涯孤独の身だが、

誰よりも明るくて陽気だった。鬱屈を抱えて働いているおれによく声をかけてくれた。職場に早く馴染めるように、何かと気配りしてくれた。

おれが死んだ亭主に似ているのだそうだ。

「相談があるんだがな」

「これから花見の会を始めます」

おれが宣言すると、まばらな拍手が起きた。弱々しいが、一生懸命の拍手だ。参加者は、おれと北村を除くと七人。本物の花見には参加できない入所者ばかりだ。

北山がギターを弾き始めた。間に漫談風の話をはさんで、桜にちなんだ懐メロを二曲、歌った。途中で入った橋幸夫のモノマネがちよっぴり受けた。

「次は、ドクター北山の日本全国酒飲み音頭」

隣に立った北山が、違う違うと手を振った。

「漫才やろうぜ」

いきなりだった。戸惑っているおれに、タキノさんが「マンザイ、マンザイ」と言いながら手をたたいて

いる。

「みなさんこんばんはー、ヒバゴンです」

車椅子を押して会議室の中に入ると、タキノさんが歓声を上げた。満開の桜の花が咲いている。地元の小

桜の名所である上野公園に、花見に出かけるのがこの施設の恒例になっている。

「肺炎がおさまったばかりだからな。無理をすれば、また入院になる」
「そうか……」
誰よりも花見を楽しみにしているのがタキノさんだった。
「わたしはね、桜の花を見るとまた一年、生かしてもらえただと感謝す

「サクラサク」

あきふゆひこ
亜木冬彦

現代御伽草子(22)

※県北の歴史や風物を題材としたファンタジー小説です。



北山が強引に口火を切った。もうやるしかない。

「はい、ツチノコです」

「……」

「古いなー、平成生まれの子は知らんと思うで」

「ほうじゃな。もっと新しいネタをやらんと」

「こんばんはー、イザナミです」

「イザナギです……」

「おいおい、もっと古うなつとるじゃねーか」

「もう神話の世界じゃけえね」

「もう、頼むでー。こんだー、しっかりやろうでー」

「よっしゃー！」

「こんばんはー、ネアンデルタール人です」

「帝釈原人です」

ふたりでゴリラのモノマネをする。誰もが笑っている。タキノさんの歯のない顔がくしゃくしゃだ

……。

「最初は調子が良かったんだけどな」

北山が悔しそうに言った。

「途中から、ボロボロだったな」

ぶつつけ本番、高校の卒業記念の送別会以来のネタだった。あのあと、原人を馬鹿にするなど、世界史の教師にこつてり絞られた。

「でも、受けたよな」

北山の言葉におれは頷いた。

「ああ、喜んでもらった」

「タキノさんの『ビールちょうだい』にはまいったがな。主治医として、アルコールは許可できんよ」

「冗談を言う元気が出ただけでも、大成功だ」

北山が頷いた。

「おれはユースケがうらやましかった」

意外な言葉に、北山の顔を見た。

「自分のやりたいことをやれるおまえがうらやましかった」

「その結果がこのザマだ。尻尾を巻いて逃げて来た負け犬だよ」

「やりたいことに挑戦できたんだ。おれには、医者になるしか道はなかった……」

贅沢な道だよとおれは内心、反発した。

「実はな。医大に行くかどうか真剣に悩んだんだ。おまえと一緒に大阪に行つて、漫才をやるうと決めていたんだ。ちょうどそのとき、おやじが脳梗塞で倒れてな」

おれも内心、北山と一緒に来てくれることを期待していた。

「もっと練習しないと」

北山が言った。

「こんなんじや、人前に出れないぞ」

「人前……」

「当面の目標は、今度の花見だ。出番はたくさんあるぞ。田舎は老人大国だ。病院や介護施設には老人が溢れている。みんなまとめて、おれらが笑わしてやるんだ。笑顔は立派な医療だ」

「おう、ダブル・シゴンボー復活じゃー！」

おれは、北山の突き出たおなかを平手でパンシと叩いた。

「おれは、北山の突き出たおなかを平手でパンシと叩いた。」

まつの古本屋さん どら書房

古書探索の旅に、お気軽にお立ち寄りください。

- ・無料本、百円本、50円本などのコーナー。無料の漫画ルームもあります。
 - ・地元のポストカード、新鮮野菜の店頭無人販売もやっています。
- ※九日市の開催日は定休日でも開店します。

- 庄原市中本町 2-1-10
- 定休日：毎週月・火曜日
- 営業時間：9:30~19:00
- TEL: 090(9913)3052

※広島銀行庄原支店の手前（三次側から）※交差点角のまちなか駐車場が使用できます。

< 広告料 1/4 ページ 1 回 2,000 円 半年間 9,000 円 1 年間 1,5000 円 >



どら書房の店主が毎月オススメ本を3冊選んでご紹介します。

「極大射程」

スティーヴン・ハンター 著 新潮文庫

ボブ・リー・スワガー、米国海兵隊退役一等軍曹で、ベトナム戦争で 87 人の命を奪った伝説のスナイパー。今は老犬とライフルだけを友に隠遁生活を送っている。その引退した老兵の元に、新開発されたライフル銃の試射の依頼が舞い込む。ボブは 1400 ヤードという長距離射撃を成功させるが、それは周到に準備された陰謀だった――。



濡れ衣を着せられ、たった一人で特殊部隊の兵士 120 名を相手の銃撃戦に乗り出すボブは、アメリカンヒーローの典型だ。自分の身は、いや名誉は自分で守る。文句なしの傑作。ただし、アメリカでは「射撃は文化」なのだ実感、銃規制の難しさがそこにある。

「神様のカルテ2」

夏川草介 著 小学館

映画やコミックにもなっている大ヒットシリーズ第 2 弾。「24 時間、365 日対応」を掲げる信州の本庄医院で、連日連夜不眠不休で奮闘する青年医師、栗原一止が主人公。現役の医師が書いているだけに、描写はリアルで迫力がある。医療の最前線は、人間の生死をかけた修羅場の連続だ。そうした殺伐した現実を、夏目漱石に私淑する一止の気取った文章が和ら



げてくれる。おとぎ話の登場人物のような周囲のキャラも微笑ましい。

医は仁術、個人の医師の奉仕の精神でかろうじて維持されている地方の救急医療の実態——、そのメッセージが前作よりも強くなった。シリーズは 4 作まで上梓されている。

「あずみ」

小山ゆう 著 小学館

漫画史上最強の剣士は誰だろう、そんなことを考えてしまった。「バカボン」の宮本武蔵か、「るろうに剣心」の緋村拔刀斎か。わたしはあずみの名前を挙げる。小説を含めてもいい。もちろん、わたしの勝手な独断である。

時代は豊臣政権末期。碧眼の美少女あずみは、人里離れた場所で刺客として育てられる。数々の殺人術を身に着けた精鋭部隊が、いよいよ世に出るときがきた。



そのための最終試練が、あずみたち 10 人に命じられる――。驚愕のスタート、出だしから頭をガツンと殴られた感じ。天真爛漫な殺人マシンのあずみが、人間として成長する物語でもある。全 48 巻、どら書房で読むことができます。

どら書房 << 貸本屋システム >>

- ・ 店内で販売した本は、どら紙幣（店内専用通貨）であれば半額、現金であれば 3 割で買戻します。※破損や汚れがあれば値引
- ・ 書籍購入⇒読了⇒どら紙幣と交換⇒新たな書籍購入、貸本のような感覚でご利用ください。

どらくる俳壇

山笑ふお前百まで生きるのか

近藤 昌平

マスクしてマスクの顔と話しけり

原 博己

夜明け前寒三日月に星一つ

片岡 正人

霧の駅乗客ひとりローカル線

隆 愚

青春は今でも苦しフキノトウ

赤川 冬人

投稿&寄稿

「犬派」と「猫派」 M・A

今さらだが、今年は戌年である。

私が生どもの頃は、野良犬がたくさんいた。新興の住宅地で暮らしていたのだが、売れ残りの空き地がけっこうあって、草むらや土管などの建材の隙間が、野良犬たちの棲家になっていた。

避妊などしないでほったらかしなので、子犬がぼこぼこ生まれる。気

※投句を歓迎します。

に入った子犬を拾ってきて飼う。それが当たり前で、コリー犬なんかを飼っている家は自分たちとは違うランクの人間なんだと、子ども心に思ったものだ。

うちは母親が動物嫌いで、犬を飼ってもらえなかった。だから、内緒で空き地で飼う。給食の食べ残しや、家からくすねてきた缶詰やハムを子犬に与えていた。それでは足りないの、でかい牛ガエルをつかまえてきて、焼いて食べさせたこともある。ふとももはおいしいので自分

で食べてしまい、残りをあげる。ガツガツと食べてくれた。大きなおたまじやくしも、喜んで食べてくれた。カラス貝も採ってきて、焼いて食べさせた。ムール貝に似た淡水の貝で、でかいのが田んぼにいくらでもいた。

子どもは気まぐれで、たぶん途中で飽きてしまったのだろう。餌をもらえなくなった子犬はどこかに消えてしまう。残酷な仕打ちをしていたと、当時のことを思いだすと胸が痛む。それでも、一匹だけは同級生の女の子の家で飼ってもらえることになって、ときどき会いに行っていた。

世の中には「犬派」と「猫派」がいる。私は「犬派」だと自認し吹聴していた。沼田陽一さんという作家がいて、ある同人誌で知己を得た。自宅の飼い犬とのエピソードを題材にした「コメディアン犬舎」シリーズが人気で、沼田さんは当然、「犬派」なのだと思い込んでいた。猫よりも犬が好きなんですと宣言する私を、沼田さんは不思議そうな顔で見た。「ぼくは猫も大好きですがね」

思い返せば当たり前の言葉なのだが、年若い私にはとても新鮮に響いた。鱗の取れた目で見ると、猫の奔放な行動は忠犬にはない面白さがある。

る。日本中から野良犬の姿が消えて久しいが、野良猫はまだけっこういる。いつの間にか私は、野外の猫をナンパするために、煮干しをポケットにしにのばせて散歩するようになった。

たぶん、考え方が変わったのは猫に対してだけではなかったと思う。人見知りで人の欠点ばかり気にしていた私が、もっとおおらかな視線で人を見ることができるようになった。外見や性格、年齢、考え方等々、自分とは違うからこそ面白く感じることもある。

「ぼくも猫が大好きです」

今は鬼籍に入っている沼田さんとあの世で再会したら、そう言うつもりである。



庄原歴史探訪

「幻の神福寺」じんぶくじ

第三回 文責・寺岡隆行

4. 土地の表示名に「神福寺」という地名があります。

現在は広島県庄原市宮内町○○番地ですが、その前は、広島県比婆郡庄原町大字(おおあぎ)宮内、小字(こあぎ)神福寺(じんぶくじ)○○番地でした。そして、その前は、備後の国三上郡(みかみこおり)宮内村字(あざな)神福寺(じんぶくじ)○○番屋敷と表示されていました。

郡(こおり)というのは、里、郷、町、村などを包括するもので、地方区画名を指す昔の呼び方です。

大字(おおあぎ)は村の中の大きい区画で、小字(こあぎ)は大字の中の小さい区画を指します。例えば、宮内村の中で大歳神社のあった区域は小字大歳というふうに呼称していました。行政改革で○○番地と呼ぶ前は○○番屋敷と呼ばれていました。したがって、神福寺のあった付近は、小字神福寺の呼称が残っています。

これまで述べてきました4つの証拠により、庄原市宮内町に「神福寺」があったのは確実な事だと了解していただけたと思います。

この様な寺院の出来た背景として、当時の朝鮮半島と日本の関係について説明しなくてはなりません。白鳳時代の西暦660年頃、朝鮮半島には、高句麗と新羅と百済、中国には唐という国がありました。そして、新羅と唐が一緒になって、百済と戦争をしていた時代でした。当時の年表を紹介します。

- 655年** 高句麗は百済と連合して新羅を攻撃、新羅は唐に救援を要請。
- 659年4月** 百済がしきりに国境を侵すので、唐に救援を要請。
- 660年3月** 唐は新羅の要請に応え百済に出兵。
- 同年7月9日** 新羅は百済軍を破り、唐軍と合流。
- 同年7月12日** 百済の王都泗泚城を

囲む。

同年7月13日 百済の王は熊津城に逃げ、子の隆が降伏。

同年7月18日 百済の義慈王は降伏、百済は滅亡。

※その時、残された多くの宮人たちは、扶蘇山城の北の絶壁から、白馬江(錦江)に身を投げたという。

※その直後から各地で復興運動が起

り、王族鬼室福信は僧道琛と共に、周留城で、日本に居た王子豊璋を迎え、旧百済領を、ほぼ回復する。しかし、内紛が始まる。

660年10月 百済は日本に救援を請う。

661年1月6日 日本の齊明天皇が難波から船で、西征に出発。

同年1月8日 大伯海で大伯皇女が生まれる。

同年1月14日 伊予熟田津(にぎたつ)の石湯行宮(いわゆのかりみや)に到着。

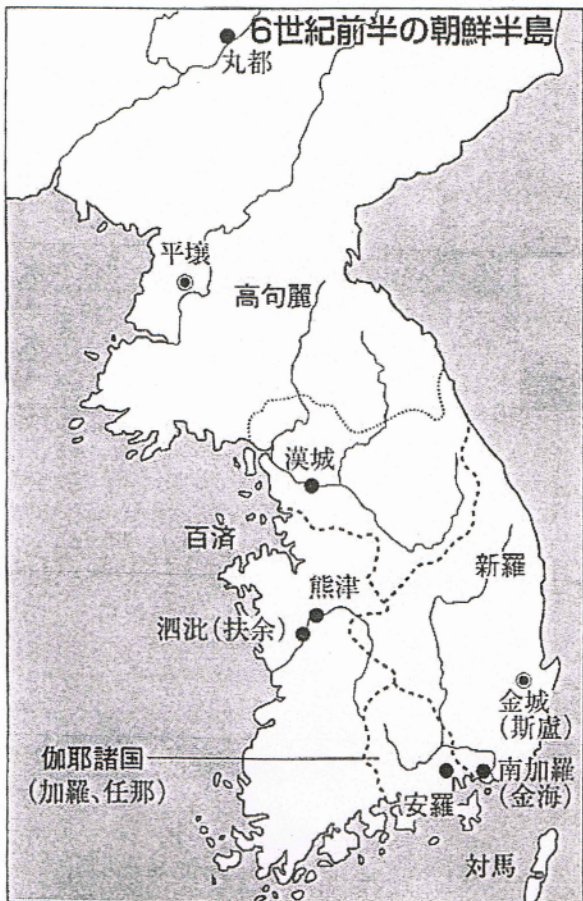
同年3月25日 海路で娜大津に到着、磐瀬行宮(三宅?)に入る。

同年5月9日 朝倉橘広庭宮に移り住む。

同年7月24日 齊明天皇は朝倉宮で亡くなる。(68才)、中大兄皇子(48才)称制。

※齊明天皇が百済救援のため、九州へ向う途中、備中邇磨郷にて、兵士2万人を集める。

(次号に続く)



どらくろあ 掲示板

地域のイベント情報やメンバー募集など
情報掲示板です。

一 硬式テニス参加者募集 一

MTEC (Miyoshi Tennis Enjoy Club)

場所：三次運動公園の屋内&屋外コート

- ・火曜日 (9:30 ~ 12:00)
- ・水曜日 (9:30 ~ 12:00)
- ・土曜日 (10:00 ~ 12:00)

連絡先：中川 (☎080-5610-2376)



洲澤陶芸教室 (電動ロクロほか成形全般)

- ・県大前教室 (0824-72-0686) 月謝 2,000 円
金曜日 (毎週) 午後 1 時~4 時 30 分
 - ・敷信自治センター教室 (0824-72-0571) 月謝 1,000 円
木曜日 (第二、第四) 午後 1 時~4 時 30 分
 - ・庄原小学校前教室 (0824-72-1074) 月謝 1,000 円 (月2回)
月曜日~水曜日 (希望する日) 午後 1 時~4 時 30 分
- ※詳しくはお電話ください。0824-72-1074 (夜間を希望)
洲澤悦二 (庄原市西本町 2-11-19)

陶芸 教室

《情報&原稿を募集します!!》

- 仲間募集
- 教室&講座案内
- イベント情報
- あなたの大切な本の紹介
- ボランティア・ライター(現地記者)募集!

※応募先はどら書房・赤川まで。
掲載は無料です。

どらくろあ ホームページ

バックナンバーも掲載して
いるので、ダウンロードして
お楽しみいただけます。



<http://shobara.wix.com/dorakuroa>

第3回 庄原さくらフェスティバル

庄原市民の憩いの場として昔から愛され、日本さくら名所100選にも選ばれた
上野公園。さくらの開花時期に合わせたフェスティバルを今年も開催します。
小さなお子様から年配の方まで、楽しめる催しがたくさんあります。

開催日：4月8日(日) ※雨天決行

時間：10時~16時

場所：庄原市上野総合公園 (芝生広場・陸上競技場施設周辺)

問合せ：庄原さくらフェスティバル実行委員会 (0824-72-2121)

発行：どら書房
〒727-0012
庄原市中本町 2-1-10
☎090(9913)3052(赤川)
e-mail: touzin@sannet.ne.jp
年間購読料：2,000円(郵送費込)

誌面デザイン: ROUTE183
協賛: 九日市愛好会

◇「老いの雑記帳」は、自費出版された本からの転載です。老いることへの心情が素直に吐露されていて共感できます。

◇来月より、三次市立図書館の職員の方の新企画がスタートする予定。児童書をテーマにしたリレーエッセイ、本誌では取り上げる機会の少ない分野ですので、楽しみです。

◇本誌の編集が終ると、確定申告が待っています。二月はせわしないですね。春はすぐ近くまで来ています。

編集後記

◇本誌も今回で丸二年、二十四号を出したことになります。「みよし地方史」は百号超え、継続するのは大変なのだ実感しています。これからも、ご協力をお願いします。

第206回

「庄原九日市」

平成30年

3月9日 (金) 9:00~13:00

庄原九日市とは？

天正年間(440年前)に物々交換で始まった市(いち)。
昭和年代の戦争で途絶えていた市を、市街地活性化ボランティア活動として空き店舗などを活用し2001年に復活。

TOPICS

★市民ギャラリー「アート多愛夢」

➡読書感想画作品展

3月8(木)~10(土) 10時~16時

平成29年度庄原市文芸大会入賞作品展

★どら書房

➡月曜日と火曜日はお休み

★風龍

➡九日市スペシャル! 餃子200円!

★楽笑座で「まかない食堂」「うた声喫茶」開催中。

出店配置図



1 お休み

2 ギャラリー三村

3 昭助
とらぢ
二八そば加工所
アーミッシュ
さだっさ
リトルマーメイド
健康企画グループ

4 お休み

5 ちくちくはうす玉手箱

工房アム
かぐや姫
6 やまのおみやげや
めだかの学校
ROOM OF KEIKO

7 農楽会

8 タツミ矢

9 まなべ商事

10 克國水産

11 お休み

12 お休み

13 山本水産
くんえん工房 香豚
ハナビラタケ広島
花田FF

14 開盛社

15 宮川屋
田崎屋
砂田海産
佐藤園芸

16 お福

出店申込みは、【毎月20日締切】コンパネ1枚スペース1,000円~ 九日市愛好会事務局
〒727-0013 庄原市西本町2-1-10 楽笑座内

ホームページ
<http://www.kunchi-ichi.jp>

